

令和7年度 課題別研修 I

これからの支援・連携をよりよいものにするために

～つながる、ことの重要性を見直してみよう～

実施要綱

1 ねらい

社会情勢の変化に伴い多様な課題を抱えた支援を必要とする方々に寄り添い、複雑化するニーズに対応する中で、支援に携わる専門職として、連携について改めて考え、つながることの重要性を見直し、よりよい支援を考えます。

2 主催

社会福祉法人秋田県社会福祉協議会 秋田県福祉保健研修センター（秋田県委託事業）

3 受講対象

社会福祉施設、社会福祉協議会、地域包括支援センターなどの相談支援業務担当者、生活困窮者やひきこもりなどの支援に関わる相談援助業務担当者

4 定員

60名

5 期日

令和7年9月5日（金）

6 会場

秋田県社会福祉会館 10階大会議室（秋田市旭北栄町1-5）

7 申込受付

令和7年6月18日（水）9:00～7月18日（金）

「研修受付システム」にログインの上、お申込みください。

8 受講料

1名 3,000円

受講料は振込となります。振込手数料については各自で御負担願います。

9 留意事項

(1) 感染症対策

本会が実施する福祉保健研修は、感染症に対する重症化リスクが高い福祉サービス利用者への援助職者を対象としているものです。感染症予防の観点から、研修会場内でのマスク着用を求めます。

(2) 受講の可否

申込受付は定員の範囲内で先着順とします。定員の都合により受講できない場合がありますので、あらかじめ御了承ください。受講決定者には、「受講決定通知書兼受講料請求書」を令和7年7月25日(金)までにメールでお送りします。指定期日までに受講料をお振込みください。

(3) 研修カード

全日程の受講を要件として修了証明をします。研修カードをお持ちの方は当日御用意ください。お持ちでない方は、当日受付時にお渡しします。

(4) 駐車場

会場となる秋田県社会福祉会館の駐車場は、当研修受講者の駐車を保証するものではありません。本会HP[研修情報>研修一覧(駐車場のご案内)]から、秋田県社会福祉会館駐車場図、周辺駐車場地図を御確認ください。

(5) 昼食

受講者各自で準備願います。(当会館のレストランは、閉店いたしました。)

(6) 空調

秋田県社会福祉会館では、環境への配慮及び節電・省エネルギーを心がけた空調を実施しています。研修開催時期の気候に応じ寒暖等が調整できる服装で御参加ください。

(7) その他

受講申込後に欠席や申込内容に変更がある場合は、「研修受付システム」から修正してください。

<お問合せ先>

社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会

施設振興・人材・研修部 研修担当

秋田県福祉保健研修センター 担当/鎌田・黒川

〒010-0922

秋田市旭北栄町1-5 秋田県社会福祉会館7階

TEL 018-864-2775 FAX 018-864-2840

e-mail:kc@akitakenshakyō.or.jp

日程表

日 時	研修科目・講師
9月5日 (金) 9:20~ 9:50	受付
9:50~10:00	オリエンテーション
10:00~12:00	科目1. 講義 「相談援助で活きる支援の視点と考え方を学ぶ」 科目2. 講義・演習 「支援に携わる専門職として、ソーシャルサポート・ネットワークについて理解を深める」
12:00~13:00	昼食・休憩
13:00~16:00	科目3. 講義・演習 「つながることの重要性を見直し、よりよい支援を考える」
16:00~	閉講・アンケート記入

◇講師紹介◇

新保 美香(シンボ ミカ) 氏

明治学院大学 社会学部社会福祉学科 教授

明治学院大学大学院を修了後、高齢者ケアセンター、福祉事務所ケースワーカー（高齢者担当・生活保護担当）を経て、現職に至る。2004年度に、国立シンガポール大学に特別研究員として留学。

専門は社会福祉学、公的扶助論。貧困、生活保護、生活困窮者支援に関するソーシャルワークに関心を持ち、実践者の取り組み、当事者の声に学んでいる。

【研究実績】

共編著『社会福祉学習双書 2025 貧困に対する支援』（全国社会福祉協議会 2025年）

単著『未来を拓く就労支援-「働くことの応援」を通じたソーシャルワーク』ソーシャルワーク実践の事例分析〈第17号〉（ソーシャルワーク研究所 2023年）

共編著『最新社会福祉士養成講座・第4巻 貧困に対する支援』（中央法規出版 2021年）